

令和8年5月20日
記者発表・配布資料
海津市総務課秘書広報室

報道各社 御中

堀田の田植えについて

水害多発の輪中地域において、江戸時代から昭和40年代まで行われていた「堀田（ほりた）」での米作りを体験するため、市内の小学生が実際に手作業での田植えを行いますので、お知らせします。

記

日時： 6月12日（金） 午前9時00分～（小雨決行）

※学校毎に時間をずらして実施

場所： 木曾三川輪中ミュージアム 屋外展示「堀田」

参加児童： 海津小学校4年生 68名

今尾小学校4年生 21名

合計89名（いずれも市立小学校、このほか引率教員 合計6名）

- その他：
- ・品種 もち米
 - ・堀田面積 約800㎡（植え付けする掘上田面積 約350㎡）
 - ・田植えの指導等の協力 ダイワ産商（代表：大橋 優）
 - ・収穫 10月初旬頃を予定。後日、収穫祭にて餅つきを実施予定

<堀田について>

堀田とは、江戸時代後期より明治時代にかけて輪中など低湿地の稲作農法として普及した。盛り土をして高くした部分を「掘上田」（ほりあげた）、土が取られて水路となった部分を「掘潰れ」（ほりつぶれ）という。両方を総称して「堀田」（ほりた）と呼んでいる。水路を田舟と呼ばれる舟で行き来をして作業をしたことから「田舟農業」とも呼ばれた。他の低湿な地域でも類似の稲作方法は行われたが、海津市内では昭和40年代前半に土地改良（耕地整理）事業のため全て消失した。当ミュージアムでは当時の苦勞を偲ぶため、小さいながら復元した。

	担当課	担当者	電話番号
問い合わせ	文化・スポーツ課	小粥 政人	0584-53-1536
	木曾三川輪中ミュージアム	水谷 容子	0584-53-3232